

(個人)

(報告 田 中)

伊 吹 山 1, 377m (日本百名山)

【日時】 24年5月15日 (水) 晴れ

【メンバー】 田 中 (単独)

【行動記録】

太宮発(前日 11時37分、車)⇒伊吹山登山口・滋賀県側(5時55分)⇒三合目(7時22分)⇒五合目(7時45分)⇒山頂(8時58分～9時10分)⇒五合目(10時25分)⇒三合目(10時39分)⇒登山口(11時36分)
上り 3時間 下り 2時間30分

【装備・食料等】

個人装備：携帯電話、ヘッドランプ、雨具、コンパス、地図、救急薬、水、食事(昼食)、行動食、ツエルト

【感想】

登山口は、旅館、民宿が両わきに立ち並ぶ道路の突き当りにある三宮神社の鳥居をくぐったところから始まる。車は、駐車場の客引きに従い、預けたのだが、トイレ、靴洗い場があり、下山の際、冷たいお茶とお菓子を出してくれるサービスはうれしかった。しかし、山頂近くまで続くドライブウェイやゴンドラで三合目まで行くことができるこの山は、観光地そのものである。歩き始めは参道のような暗い樹林帯を進むが、やがて一合目の標識のある草地に出る。そこからは雪のない今の時期、閉鎖されている売店や宿泊施設が点在するスキー場を登る。三合目でゴンドラの駅から下りてくる道と合流し、いよいよ登山道らしくなってくるが、樹木はあまりなく、どっしりと聳える山頂を見ながら石灰岩の坂道をひたすら登っていく。初夏の花の盛りにはまだ程遠いが、スミシ、こごめぐさ、イブキハタザオなど小さい花が登山道を彩る。山頂の土産物屋で聞いたところによると20種類くらいは咲いているとのことである。朝早かったため、上りではハイカーはそれほど多くはなかったが、下りでは単独ハイカー、中高年の団体、若いカップルなどが次から次へと登って来る。休日と錯覚しそうな人の出であった。

